

宇宙開発委員会報告書に報告されている失敗の要因の中で  
メーカーの一員として以下の点が特に重要と認識

## 1. 開発検証が不十分

**盛り込まれた技術が世界的にも高度であるにも拘らず、開発の検証が不十分**

- ・N- ~ H- のライセンス主体の成功実績・・・技術課題に対する具体的かつ実務的な确实を重視する姿勢の風化
- ・国内で自主開発した技術の実証が不十分 (地上試験及び打上でのデータの蓄積不足)

## 2. 不具合対策の横通し認識・体制が不十分

**燃焼部位で失敗が再発している事実や、SRB-A開発がH- 8号機不具合対策  
と同時期に行われていた事実から、不具合対策の横通し機能が不十分**

- ・顕在化した不適合のみに資源が集中し、その他が手薄
- ・メーカーの洞察力、危機感を動員した水平展開が必要